

小倉議員の「新規就農者の受入れについて」のうち「受入れ実績について」のご質問からお答えいたします。過去10年間においては、13件、18名の新規就農者が独立自営による就農に至っております。

次に「サポート体制等の現状について」であります。国の支援制度の活用に加え、研修期間中の生活支援や住宅支援など、本市独自の支援を行っております。

次に「今後の方向性について」であります。伊達市農業担い手育成センターの協力を得ながら、これまでの施策に加え、新たな展開についても検討して参ります。

次に「子ども食堂の在り方について」のうち「子ども食堂の件数等の現状について」であります。現在、市内には3か所の子ども食堂があるものの、うち1か所は休止中であり、ほか2か所の活動頻度については週1回から2回程度、1回あたりの利用者数についてはおよそ30人程度と把握しております。

次に「子ども食堂に対する捉え方や連携について」であります。親子が人とつながり、子どもたちが健全に成長するに当たり、行政による取組では難しい、柔軟性の高い活動であり、非常に有益なものであると認識しております。

次に、「今後の支援体制等について」であります。これまでと同様に、関係機関からの食材提供に係る告知や、市内事業者から食材の寄附の申し出等があった際は、団体への情報提供を行って参りたいと考えております。

次に「伊達武者まつりの今後の在り方について」のうち「現状と課題に対する認識について」であります。伊達武者まつりは、民間が主体となった実行委員会により開催しておりますが、担い手不足等の課題が挙げられるところであります。近年は、武者山車パレードや騎馬武者の日程を、2日間から1日へ変更いたしました。実行委員会の負担を軽減し、おまつりを継続するために必要な見直しであると認識しております。

次に「今後の方向性について」であります。引き続き、実行委員会において、担い手不足等の現状を踏まえつつ、参加者や来訪者が楽しめるイベントになるよう検討されるものと期待しております。